

# 令和3年度「かごしま農村創生塾」実施要領

## 1 目的

農村集落の維持・発展に向けて、地域資源等を活用した農村づくり活動のリーダーとなる人材の育成に資する。

## 2 研修対象者

日本型直接支払制度、水土里サークル活動等に取り組んでいる農村集落において、地域の話し合いを基本にむらづくり活動に積極的に取り組み、今後、中心的役割を担えるリーダーとして活躍が期待される人材で、各地域振興局・支庁が選定した者。

※ 原則同一集落又は組織等から2人（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から2名に制限）

※ 第1回から第3回までの研修を継続して受講できる者

## 3 研修内容及び日程等

時 期	場 所	研 修 内 容
【1回目】 (1泊2日) R3 8月17日(火) 13:30~ 8月18日(水) ~12:00	日置市 県立農業大学校	【宿泊研修】(対象者：R3塾生) テーマ：将来の人口予測からムラを考える ○講師：(一社)持続可能な地域社会総合研究所 所長 藤山 浩 氏 ○ワークショップ ○意見交換 各地域でのむらづくり活動の現状と課題等
【2回目】 (1日) R3.11月予定	鹿児島市	【日帰り研修】むらづくり研修会と併せて開催 (対象者：H28~R3塾生, その他リーダー候補者) ○事例紹介：多様な主体と連携したむらづくり活動事例等(2事例程度) ○意見交換 ○講演(外部講師)
【3回目】 (1泊2日) R4.1月予定	県内	【宿泊研修】1泊2日(対象者：R3塾生) ○現地視察：地域でのむらづくり活動取組事例 ○講演(外部講師) ○塾生の活動事例紹介 ○意見交換会

- ・ 2回目の研修会は、むらづくり研修会と併せて開催（R2年度の参加者：131人）。
- ・ 3回目の研修会は、むらづくりのモデル事例について現地研修（1泊2日）を予定。
- ・ 農村整備課との連携により、水土里サークル活動の実践者、リーダー等も研修対象者（塾生）候補として選定調整を行う。

## 4 その他

- ・ 研修対象者（塾生）の研修受講に係る旅費については、県が負担する。
- ・ 日程、内容は新型コロナウイルス感染症拡大の状況等により変更する場合がある。